

2022
12
December

祖生 集落支援 だより

Vol.4

発行：集落支援員 國次稔治
周東総合支所 地域振興課
祖生出張所 0827-85-0001



Trick or Treat!

ハッピーハロウィン♪

「トリック・オア・トリート、お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!」お化けやカボチャ、魔女などに扮した子供達の声が響きます。10月28日、その保育園の園児達が仮装して公民館を訪れてくれました。衣装は園児達自身の手作りだそうで、中には山手線に扮したという個性的な子も。ドラキュラ姿の公民館長が子供達にお菓子を配りました。ハロウィンは、秋の収穫を祝い、先祖の霊を迎え、悪霊を追い払うというヨーロッパ起源のお祭りです。悪霊から身を守るために人々は仮装したとも。こうやって子供達の笑顔を見たり、元気な声が聞けるのはとても嬉しいことですね。企画してくださった保育園の先生方にも感謝です。





丁寧に
お願いします

和樂の里でわさび塾

11月7日、JA山口県岩国統括本部主催のわさび営農塾の授業が、和樂の里にて開かれました。

わさびには色々な育て方がありますが、和樂の里で行っているのは畑で栽培する方法です。一年間山間の露地で育てたわさびをビニルハウスに移植し、その後半年かけて出荷します。花や葉はわさび漬けなど用として出荷し、茎や根は加工品（チューブわさび）用として出荷します。いわゆる皆さんが思い描くようなすりおろす生わさびも採れるには採れますが、畑ではそのままで商品となるほどの大きさまではなかなか育ちません。

この日の授業で行われたのは、山で育てたわさびをビニルハウスに移植する作業です。ショベルで株を掘り返し、新葉以外の大きな葉をハサミで切り落とした後にビニルハウス内に植えかえます。自分が手塩にかけて育ててきた株なので、我が子を見守るような気持ちで塾生の作業を見ていました。来春には大きく育てたくさん収穫ができるよう期待しています。



編集後記

すっかり寒くなりましたね。和樂の里で過ごす初めての冬です。エアコンで暖房をつけていたら電気代がすごいことになりました。それで灯油ストーブを使い始めたのですが、灯油代もばかになりませんね。山に行けば薪に出来る木がたくさんあるので薪ストーブを導入したいのですが、工事等も必要なので、なかなかハードルが高いです。皆様も暖かくして風邪などひかぬようお過ごしくださいませ。